

株式会社パルコ 2014年度第3四半期(3月～11月)説明資料

1. 業績概要

**増収増益を達成。第3四半期として2期連続の過去最高益を更新
名古屋ゼロゲート・福岡パルコ新館開業により都心部事業拠点を拡大**

□ 第3四半期 業績

百万円

連結	当期 3月～11月	前期 3月～11月	増減額	前年 同期比
売上高	197,300	194,069	3,231	101.7%
営業利益	8,834	8,698	135	101.6%
経常利益	8,811	8,560	251	102.9%
四半期純利益	5,045	4,793	251	105.2%
EBITDA	13,135	13,048	86	100.7%

単体	当期 3月～11月	前期 3月～11月	増減額	前年 同期比
売上高	179,800	177,921	1,879	101.1%
営業利益	8,542	8,572	▲29	99.7%
経常利益	8,504	8,540	▲36	99.6%
四半期純利益	4,995	4,918	77	101.6%
EBITDA	12,527	12,612	▲84	99.3%

※ EBITDAは「営業利益＋減価償却費」にて算出しています

□ セグメント情報

百万円

連結		当期 3月～11月	増減額	前年 同期比
ショッピング センター事業	売上高	178,261	1,299	100.7%
	セグメント利益	8,277	▲107	98.7%
専門店事業	売上高	14,008	994	107.6%
	セグメント利益	226	72	147.4%
総合空間事業	売上高	14,422	868	106.4%
	セグメント利益	261	5	102.0%
その他の事業	売上高	5,240	812	118.4%
	セグメント利益	118	185	-
連結	売上高	200,463	3,508	101.8%
	セグメント利益	8,834	135	101.6%

※ セグメント別の業績における売上高には、営業収入が含まれています
 ※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっています
 ※ (株)パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれています
 ※ 事業間での調整があるため、各事業業績の合計と連結の数値は異なります

□ 販売費及び一般管理費の主な内訳

百万円

連結	当期 3月～11月	増減額	前年 同期比
人件費	7,484	172	102.4%
借地借家料	6,256	178	102.9%
宣伝費	2,685	▲21	99.2%
業務委託費	4,022	75	101.9%
減価償却費	4,301	▲48	98.9%

販売費及び 一般管理費	24,247	724	103.1%
----------------	--------	-----	--------

□ 営業外損益の主な内訳

百万円

連結	当期3月～11月	増減額
営業外収益	360	23
受取利息	33	▲8
受取配当金	33	▲1
営業外費用	382	▲92
支払利息	329	▲64

□ 特別損益の主な内訳

百万円

連結	当期3月～11月	増減額
特別利益	101	90
投資有価証券売却益	99	89
特別損失	561	80
固定資産除却損	501	144
減損損失	53	30
店舗閉鎖損失	-	▲97

- ・連結売上高は、(株)パルコの売上堅調と(株)ヌーヴ・エイの既存店好調に加え新規出店の売上増が寄与し、増収
- ・連結営業利益、経常利益、四半期純利益は、パルコ店舗およびエンタテインメント事業とヌーヴ・エイの売上高増加に加え、前年度出店したゼロゲート3店舗のフル稼働により、増益
- ・名古屋エリアにてゼロゲートが10月開業、2015年春西館隣接物件開業予定。福岡エリアではパルコ新館が11月開業、2015年春増床オープン予定。以降も、札幌のゼロゲート(2016年春開業予定)、仙台の新館(2016年初夏開業予定)、上野への出店(2017年秋開業予定)を計画

* オープン予定の店舗名は仮称です

2. 単体 店舗営業概況

福岡パルコ新館を開業。テナント売上高は都心型店舗グループが牽引し、全店計、既存店計ともに前年同期を上回り堅調に推移

□ 単体 店舗別テナント売上高

百万円

店舗名	当期3月～11月	前年同期比	
都心型店舗グループ	札幌パルコ	8,563	103.6%
	仙台パルコ	9,557	98.6%
	池袋パルコ	20,742	99.2%
	渋谷パルコ	10,878	108.6%
	静岡パルコ	7,256	97.3%
	名古屋パルコ	25,458	99.1%
	広島パルコ	12,426	99.7%
	福岡パルコ ※1	9,586	110.1%
8店舗 計	104,469	101.2%	
コミュニティ型店舗グループ	宇都宮パルコ	3,295	93.4%
	浦和パルコ	13,000	104.0%
	新所沢パルコ	6,710	103.6%
	千葉パルコ	4,282	89.2%
	津田沼パルコ	6,608	96.3%
	ひばりが丘パルコ	5,604	99.5%
	吉祥寺パルコ	5,416	96.5%
	調布パルコ	12,546	99.5%
	松本パルコ	5,478	100.7%
	大津パルコ	3,255	97.5%
	熊本パルコ	3,781	100.2%
11店舗 計	69,981	99.2%	
既存店計	174,451	100.4%	
福岡パルコ新館	397	-	
合計	174,848	100.6%	

※1 福岡パルコの値には新館(2014年11月13日開店)の値は含まれていません

□ 単体 テナント売上高四半期別推移(既存店計)

	3～5月	6～8月	9～11月	3月～11月
前年同期比	102.9%	98.1%	100.1%	100.4%

□ 単体 買上客数、客単価 前年同期比四半期別推移(既存店計)

	3～5月	6～8月	9～11月	3月～11月
買上客数	101.2%	98.4%	99.5%	99.7%
客単価	102.4%	100.5%	101.2%	101.4%

※ 既存店計には、福岡パルコ新館(2014年11月13日開店)の値は含まれていません

※ アイテム別売上高、改装ゾーン売上高、買上客数、客単価の前年同期比は、『店舗総合売上高』によるものです。『店舗総合売上高』とは、店舗の総合的な販売力を表示するため、テナント売上高に、パルコ劇場などの売上高・固定賃料テナントの売上高を加えたものです

※ 営業面積は、テナント面積および共用面積です ※ パルコカード会員数と単体売場概要は2014年11月末現在の数値です

□ 単体 改装状況

改装規模	区画数	376
	内、新規出店区画数	208
改装効果	改装面積	約41,000㎡
	ゾーン売上高前年同期比	121.8%

□ 単体 アイテム別売上高 前年同期比

アイテム分類	当期3月～11月		
	全店計	既存店計	
衣料品	婦人服	94.9%	94.7%
	紳士服	92.9%	92.9%
	衣料品総合	105.0%	104.4%
計	97.9%	97.6%	
身回り品	靴	97.6%	97.6%
	バッグ	123.2%	123.2%
	装身具	97.9%	97.8%
	化粧品	102.5%	102.3%
計	103.0%	103.0%	
雑貨	教養雑貨	103.1%	103.0%
	趣味・家庭雑貨	100.4%	100.0%
計	101.3%	101.1%	
食品	98.5%	98.5%	
飲食	110.2%	109.3%	
その他(サービスほか)	107.0%	107.0%	

□ クレジットカード概況

クレジットカード取扱高(百万円)	85,103
前年同期比、売上高シェア	106.6% 41.7%
パルコカード取扱高(百万円)	42,831
前年同期比、売上高シェア	108.5% 21.0%
パルコカード会員数(千人)	1,736

□ 単体 売場概要

店舗数	19	契約法人数	841
テナント総数	2,383		
営業面積	456,600㎡		

- ・福岡パルコ新館を11月に開業。新しい消費ニーズに対応した多様なライフスタイルの提案や、独自のICT活用による来店促進策が奏功し、売上高・客数ともに計画を上回り順調にスタート
- ・積極的な販売促進策を実施するなど、高いインバウンド需要に応えた、渋谷パルコ(海外客売上高シェア* 6.8%)、札幌パルコ(同*2.9%)、福岡パルコ(同*0.6%)などが売上を牽引
- ・第3四半期までで約41,000㎡の改装を実施し、改装ゾーン売上高も好調に推移(前年同期比121.8%)
- ・アイテム別は、継続して好調なバッグを中心とした身の回り品や、企画型カフェのヒットが奏功した飲食が好調

※()内の海外客売上高シェアは、3月から11月までの「店舗総合売上高」における海外発行クレジットカード売上高の比率です